

大分拳精館



概要

東洋大学日本拳法部を兄弟共に卒業した後、1982年に埼玉県春日部市に、兄（森若修治）が拳精館を創立し、1987年に大分県豊後高田市に、弟（森若鐵夫）が大分拳精館を創立しました。道場名は東洋大学日本拳法部OB会、拳精会より頂いた名称であります。自宅の敷地内に建坪45坪で木造一部鉄骨造りの道場を建築し、現在五才の幼児から60代の高齢者までが、週2回練習に励んでいます。2006年に宇佐市に支部道場も開設しております。



指導方針

母校の東洋大学の校歌に、「仁義と慈悲との誠と光」と云う一節があります。仁義とは人として守らねばならない道徳であると、説かれています。道場の指導方針としましては、この仁義を尊び、人を欺く様な言動は、厳しく慎む可きである事を第一に掲げて、うわべだけの青少年健全育成を安易に唱わず、真の道徳心を身に付けるには、我々指導する立場の者が、練習生と共に学んでゆく事が大切であると考えております。

技術面の指導では、基本練習は形を反復する、特に形は、身構え、足捌き、拳技、蹴技の技術向上には欠せ無いものと考え、少年部の練習では時間を十分に割いて指導しております。初めて面を装着して防具練習をする初心者に対しては、いきなり強い打撃をするのではなく、序々に慣らしてゆく指導方法を取っております。厳しい練習もしなければなりません、明るく楽しい道場を目指して居るところであります。



所在地・その他

- 道場の場所 大分県豊後高田市呉崎1939-1
- 電話 0978-24-2489
- E-Mail
- URL
- 練習時間帯 毎週 火・金 少年部 18:00~19:30
一般部 19:30~22:00

- 対象者 幼児～社会人
- 代表 森若 鐵夫
- 指導員 森若 新平、近藤 宏昭、内田 広志
- 設立年度 昭和62年10月1日

高田高等学校（大分拳精館）

高

陸自別府（第41普通科連隊）

社